

製品名: eIF3 α ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10378**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	30kDa

抗原情報

遺伝子名	EIF3J
別名	EIF3J; EIF3S1; Eukaryotic translation initiation factor 3 subunit J; eIF3j; Eukaryotic translation initiation factor 3 subunit 1; eIF-3-alpha; eIF3 p35
遺伝子 ID	8669.0
SwissProt ID	O75822
免疫原	eIF3 α 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 40-120

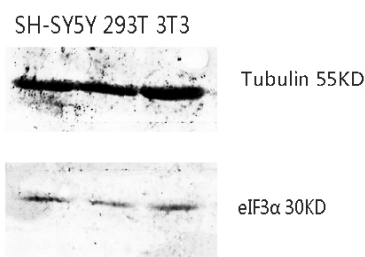
背景

この遺伝子は、真核生物翻訳開始因子 3 複合体のコアサブユニットをコードし、タンパク質および mRNA 成分の 40S リボソームへの

リクルートメントを促進することで翻訳開始に関与する。この遺伝子の擬似遺伝子は、1番染色体、3番染色体、および9番染色体に存在する。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq提供、2013年9月]、機能：真核生物翻訳開始因子3 (eIF-3) 複合体の構成要素であり、タンパク質合成開始のいくつかの段階に必要である。eIF-3複合体は40Sリボソームと会合し、eIF-1、eIF-1A、eIF-2: GTP: メチオニル tRNAⁱ、およびeIF-5のリクルートメントを促進して43S翻訳開始前複合体 (43S PIC) を形成する。eIF-3複合体は、43S PICへのmRNAのリクルートメントとAUG認識のためのmRNAのスキャンを刺激する。eIF-3複合体は、終結後リボソーム複合体の分解とリサイクルにも必要であり、その結果、開始前の40Sおよび60Sリボソームサブユニットの未熟な結合を防ぐ。このサブユニットは、40SリボソームのmRNAエントリーチャンネル内でアミノアシル(A)部位に直接結合する。43S PICとmRNAの相互作用を制御する可能性がある。、mass spectrometry: PubMed:17322308,mass spectrometry: PubMed:18599441,PTM:リン酸化。血清刺激によりリン酸化が促進される。、類似性：eIF-3サブユニットファミリーに属する。、サブユニット：真核生物翻訳開始因子3 (eIF-3) 複合体の構成要素であり、EIF3A、EIF3B、EIF3C、EIF3D、EIF3E、EIF3F、EIF3G、EIF3H、EIF3I、EIF3J、EIF3K、EIF3L、EIF3Mの13のサブユニットから構成される。eIF-3複合体は3つの安定モジュールを含むと考えられている。モジュールAはEIF3A、EIF3B、EIF3G、EIF3Iから構成され、モジュールBはEIF3F、EIF3H、EIF3Mから構成され、モジュールCはEIF3C、EIF3D、EIF3E、EIF3K、EIF3Lから構成される。モジュールCのEIF3Cは、モジュールAのEIF3BとモジュールBのEIF3Hに結合し、3つのモジュールを連結する。EIF3Jは不安定なサブユニットであり、EIF3Bを介してeIF-3複合体に結合する。eIF-3複合体は、栄養枯渇条件下でRPS6KB1と相互作用する。マイトジェン刺激は、FRAP1とRAPTORからなる複合体の結合と活性化を導き、RPS6KB1のリン酸化と遊離、そしてEIF4BのeIF-3への結合を引き起こす。

研究分野

画像データ



1:1000に希釈した抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は1:20000に希釈した。